

中学・高校生のためのサイエンスカフェ

科学の見方・科学の見方

2014年9月30日<火曜日>午後3時40分～5時まで。

淑徳巣鴨中学・高校にて開催！

ゲスト講師、東京大学物性研究所教授、日本学術会議副会長・家 泰弘氏

<ゲスト講師からのメッセージ>

科学を専門としない人が科学を学ぶ効用は何かといえば、それは「常識がつく」ことではないだろうか。たとえば「エネルギー保存則」や「因果律」といった科学の根本原理に反するような怪しげな超常現象の話は怪しいと直観できる常識である。健全な懐疑精神と言っても良いかもしれない。一方、科学を専門とする者にとって研究の醍醐味は何かといえば、それは、ごく稀にはあるが、「それまでの常識」が破られる知的興奮であると思う。

このサイエンスカフェでは、将来科学者を目指す人にも、そうでない人にも、右のテーマについて一緒に考えてもらいたい。

<テーマ>

- (1) 科学の見方：科学史からいくつかの例を採り上げて、科学研究の発想と検証のあり方について考えてみよう。
- (2) 科学の見方：日常生活のいろいろな場面での「科学的なものの見方」について考えてみよう。



開催場所

淑徳巣鴨中学・高等学校 6階 (ルンビニーホール)

東京都豊島区西巣鴨 2-22-16

<http://www.shukusu.ed.jp/access> (アクセスマップ)

TEL 03-391-6451 / FAX 03-3918-6033

開催日時、2014年9月30日

受付時間、午後3時30分 (安全管理のため事前申込制)

午後3時40分から午後5時

参加費 / カフェ

無料です。お飲み物をご用意いたします、事前にお申込みください。

参加申し込み方法

参加ご希望の方は、住所・氏名・ご職業等を明記の上、info@web-reigo.com までメールにて、お申込みください。

定員・主な対象

30名程度。高校生及び関心のある方。

ファシリテーター・コーディネーター

特定非営利活動法人 WEBREIGO 理事長
宮川智香